

第1回 天上川水系河川整備計画懇談会

議事概要

事項	第1回 天上川水系河川整備計画懇談会	参加者	別紙参照
日時	令和7年1月28日 9:30~12:00	場所	福池地域福祉センター 1階
内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 開会あいさつ 3. 委員及び出席者紹介 4. 天上川水系河川整備計画懇談会の設置について 5. 天上川水系河川整備計画懇談会規約について 6. 委員長の選出 7. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 天上川水系河川整備計画懇談会運営要綱 (案) (2) 河川整備計画の概要 (3) 意見交換 8. その他 (連絡事項) 9. 閉会 		
資料	<p>資料1 出席者名簿・配席図</p> <p>資料2 天上川水系河川整備計画懇談会の設置について</p> <p>資料3 天上川水系河川整備計画懇談会 規約(案)</p> <p>資料4 天上川水系河川整備計画懇談会 運営要綱(案)</p> <p>資料5 河川整備計画概要 説明資料</p> <p>資料6 天上川水系河川整備基本方針</p> <p>資料7 天上川水系河川整備計画 (素案)</p> <p>資料8-1 天上川水系河川整備計画 (素案) 流域及び河川の概要</p> <p>資料8-2 天上川水系河川整備計画 (素案) 治水に関する資料</p> <p>資料8-3 天上川水系河川整備計画 (素案) 利水に関する資料</p> <p>資料8-4 天上川水系河川整備計画 (素案) 環境に関する資料</p> <p>資料9 河川用語集</p> <p>資料10 河川法令</p>		



1. 開会

○「第1回 天上川水系河川整備計画懇談会」を開会した。

2. 開会あいさつ

○兵庫県 神戸県民センター 神戸土木事務所長より開会のあいさつを行った。



3. 委員及び出席者の紹介

○委員、事務局（兵庫県）の紹介を行った（資料1）。

4. 天上川水系河川整備計画懇談会の設置について

○事務局より、過去の河川法改正の経緯を含めた河川整備基本方針と河川整備計画についての説明や本懇談会の位置づけ、河川整備計画の策定スケジュール等について説明を行った（資料2）。

5. 天上川水系河川整備計画懇談会規約について

○事務局より、天上川水系河川整備計画懇談会規約（案）について説明を行った（資料3）。案について了承され、本日付けで施行された。

6. 委員長の選出

○委員の推薦により、藤田委員が委員長に選出された。

○委員長選出を受けて、藤田委員が就任挨拶を行った。

○規約第5条第3項について、委員長代理として、委員長より三橋委員を指名し、了承された。

7. 議事

（1） 天上川水系河川整備計画懇談会運営要綱(案)

○事務局より、天上川水系河川整備計画懇談会運営要綱(案)について説明を行った。（資料4）。案について了承され、本日付けで施行された。

（2） 河川整備計画の概要

○事務局より、パワーポイントにて天上川水系河川整備計画の概要について説明を行った（資料5）。



(3) 意見交換

○天上川水系河川整備計画（素案）について、意見交換を行った。

西天上川の支川について

委) 西天上川の支川およびその合流部で樹木等の詰まりによって河川の水が溢れている。

事) 詳細な場所等を確認させていただき、兵庫県と神戸市で協力しながら対策を検討する。

西天上川上流部のため池について

委) 西天上川上流部の農業用水のため池があり、管理ができていない状況である。

阪神電鉄下流の護岸について

委) 阪神淡路大震災の時、阪神電鉄から下流区間の護岸が動き、人家と擁壁の間が狭くなった。

高潮対策について

委) 平成30年のときは阪神電鉄の下流で高潮と洪水が重なった。堤防を嵩上げてほしい。

事) その区間は今回の整備計画で高潮対策区間になる。50cm程度の嵩上げを行うので治水安全度は向上する。

施設構造について

委) 現況の港湾堤防と河川堤防の境界部で20cm程度の段差や構造上の強度の違いが見られる。河川堤防を整備するにあたり、十分に配慮してもらいたい。

事) 高さについては、T.P. +3.8m、当該箇所では50cm程度嵩上げを行う。構造については、詳細設計段階で検討を行う。

凡 例	
座) 委員長意見	委) 委員意見
事) 事務局・行政回答	



神戸市が作成している土砂災害・水害ハザードマップについて

委) 下水道圧送管等の内水氾濫対策が整備されているなら、整備の効果をハザードマップに反映してほしい。

工事期間について

委) 工事期間はどの程度になるのか。

事) 計画期間は概ね20年としており、その期間内に終わらせたい。

座) 整備については危険な箇所を先行して進める等、優先順位を考慮した順番で進められると思われる。

水防に関する事項について

委) 地域の消防団が活動しており、実態について整備計画でも触れておいてほしい。

座) 地域の水防活動について整理すること。

事) 活動状況の実態を確認の上整理する。

委) 地域の水防活動への補助を考えてほしい。



河川情報の提供について

座) 量水標の整備とは具体的に何を指すか。

事) 要望があった場合、量水標の設置を検討する。

委) カメラは上流側にしかないと、(今回高潮の被害があった) 下流側にも河川モニタリングカメラや水位計があったほうが良いと思う。

事) 水位計は代表的な河川に絞られているため、全河川に設置することは難しい。

津波遡上について

委) 高潮対策だけでなく、津波の遡上についても安全な施設としてほしい。

転落防止柵の整備について

委) 嵩上げをした場合、転落防止柵は復旧するのか。

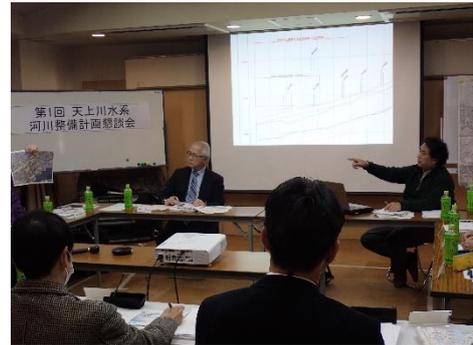
事) 設計を進める段階で、市と調整を行う。



環境への影響について

委) 工事によってどの程度環境に影響するのか。

委) 現況が三面張りであり、これ以上悪くなることはない。ただし上流部の西天上川や山間部等環境と河口の干潟は良好な環境が残されている。多自然川づくりや親水性などを確保するならば、こうした空間での環境整備は意義がある。また、河口域の拡幅は、治水と環境の双方にとって効果的だと考えられる。



事) 今ある良好な環境ができるだけ失われないように配慮する。

樹木の巨木化について

委) 上流域の樹木が巨木化しており、将来的には倒木することが想定され、洪水時に河道を閉塞するなどの危険がある。環境面にも配慮して、伐採する等、管理する必要がある

気候変動について

委) 気候変動に伴う降雨量の増加や海面上昇等について計画への反映はどのように考えているのか。

事) 神戸市内では気候変動前の浸水エリアを解消することを目標としており、天上川についても同じレベルでの整備となる。降雨量増加への対応は、次のステップになる。また、海面上昇については、現在、兵庫県で検討を進めており、そこでの海面上昇量を見て、判断する。

委) 国からの通達内容も含めて、いくつかの前提で検討頂き、手戻りがないように整備する必要がある。

座) 海面上昇による影響は不等流計算で確認できるが、急勾配河川であるため、それほど上流まで伝播しないと思われる。

8. その他（連絡事項）

○本懇談会の議事録は、作成次第、委員に確認を取り、懇談会資料と併せて県のHPにて公開する。

○第2回 天上川水系河川整備計画懇談会は、令和7年3月27日（木）午前を予定している。

9. 閉会

○「第1回 天上川水系河川整備計画懇談会」を閉会した。

別紙

第1回 天上川水系河川整備計画懇談会 出欠表

所属および専門		職名	氏名	出欠
委員	河川工学	神戸大学 名誉教授	藤田 一郎	○
	環境・生物	兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員	三橋 弘宗	○
	地元住民	魚崎瀬戸自治会 会長	石田 貴哉	○
	地元住民	魚崎町協議会 副会長	石島 幸治	○
	地元住民	西青木自治会 会長	木村 祥二	○
	地元住民	岡本財産区管理会 会長	田村 和久	○
	地元住民	青木地区まちづくり協議会 会長	中西 美知男	○
	地元住民	魚崎婦人会会長	長澤 くに子	○
事務局	神戸県民 センター 神戸土木事務所	所長	鎗水 正和	○
		河川課 課長	西川 宏樹	○
		河川課 課長補佐	高田 奈緒	○
	兵庫県 土木部	河川整備課 河川・武庫川整備班 班長	平塚 康嗣	○
		河川整備課 河川・武庫川整備班 副主任	木村 直裕	○
		総合治水課 計画班 班長	吉牟田 竜太	○
		総合治水課 計画班 主査	藤田 大樹	○

(敬称略)

所属および専門		職名	氏名	出欠
行政	神戸市	建設局 河川課 課長	脇本 英伸	○
		建設局 河川課 係長	笠井 孝造	○
		建設局 河川課	中谷 奈央	○
		建設局 東部建設事務所 課長	松岡 栄蔵	○
		建設局 東部建設事務所 係長	石川 勝博	○
		東灘区 総務部 地域協働課 係長	井上 彩	○

(敬称略)